

働きすぎ黒書 ニュース

全日本教職員組合（全教）生権局

2007年2月6日

東京都千代田区二番町 12-1 3F

働き過ぎじゃないですか 娘は教職5年目 同業の母親のぼやき

春のこと。教員5年目となったうちの長女の一言「今年の新卒ったら5時に帰るの！」同じ仕事をして娘を3人育ててきた私はびっくり。おまけに娘は組合員だと言うのに。まあ、娘の不満は、その人の普段からの働き方からつい言っちゃったということなのだろうが…。勤務時間、労働時間の問題は働き方の基礎の基礎なのと言うわけで、しばし話し合った。確かに今の教育現場はすることが多すぎる。私よりパソコンだって倍のスピードでうてる長女だが、普段帰りが7時より早いことはまずない。8時、9時まで学校にいることもある。しかもその時、職場にいる人は娘以外にもいるらしい。帰ってきてもたくさんの持ち帰り仕事。宿題の日記の赤ペン入れ、学級通信作りを欠かさずしている。それが終わってからゆっくりお風呂、足のマッサージ、誰かへのメールといろんなことに時間を費やしている。そして、私が洗濯をたたみ、茶碗を洗い、ちゃっちゃとお風呂を済まして布団に入るよりもはるかに遅い時間に寝ている。朝は個別指導が必要な子がいるというので早く出かける。土曜日は区主催の科学センターの講師を務め、学期末が近づけば日曜日も出勤して成績処理。中学時代は合唱部だったのに、声がかれて歌うことが出来ないと嘆き、ポリープは経過観察。あちこち痛くなるので整形外科の先生とはすっかりお友だち。

毎日、クラスの子どものことをいろいろ話し、楽しく教育実践の計画を立てているのは、頼もしい先輩方のいるいい職場に恵まれたからだと思う。でも、あと1年で異動。他区への異動はストレスが多いだろうし、またまた結婚は遠のくんでしょね。

娘と同じ年には私は二児の母でした。地方から出てきた二人だったから、親を当てにするわけにはいかず、無認可保育室のお世話になりながら、子育て真っ最中でした。今は何も家事をしない、する暇のない長女だが、2歳で米研ぎをしたりして親を感激させたし、小学生のときは茶碗洗い、洗濯たたみ、階段掃除、妹たちの世話となんでもして母親の良き助け手だった。育児マンガを最近よく読んでいる彼女。結婚への憧れもあるようなのだが、今の生活時間で家事をし、子育てが出来るとは到底思えない。

2007年問題と言われる今、これからますます若い教師たちが現場に増えていく。若い人たちが、豊かな教師になると同時に豊かな家庭人ともなれるように働き方を変えていかなくては、少子化に歯止めはかからないでしょうね。私たちの教育実践の財産を受け継いでいく若い教師たちが、生きいきと働ける職場を残していくように私たちも力を尽くしたいと思います。